

実習 2 『Noise』

○暗闇

くぐもった男女の口論。
何を言っているかは聞き取れない。
やがて壁に頭を強く叩きつけるような
音がして、口論が止む。
無音が続く。

○アパートの一室（夜）

若い男が寝ている。
上の階から金槌で何かを砕こうと
しているらしい音が断続的に聞こえて
くる。
その音に、若い男はやがて目を覚ます。
寝たまま天井を見上げる。
若い男、難儀そうに半身を起こす。
苦しそうに右腕を軽く回して、
うめく。
それからスマホを取って立ち上がると、
天井を眺めつつ、暗闇の中を台所に向
かう。

上の階からの音は鋸で何かを切断する音に変わっている。

コップを取って水道の水を入れると、若い男はそれを飲みながら再び天井を眺め、それからスマホに目を落とし、画面に文字を打ち始める。

彼は若い女とLINEをやっていて、その文面は次の通り。

若い男…なんか上の階から人間解体してるよ
うな音するんだけど

若い女…どゆこと

若い男…人殺したんじゃないか

若い女…警察呼べば

若い男はその文字を見て返信を打つ手を止める。と同時に、上の階からの騒音もピタと止まる。

若い男…静かになったわ。考え過ぎっぽい。
寝るか

若い男はコップの水の残りを流しに捨てる、再び寝床に戻ろうとする。

と、立ち止まって玄関を見る。そこに赤いハイヒールが置かれているのかすかに若い男の視界に入る。それを見つめると、再び鋸で何かを切るような音が聞こえてきて、その音は徐々に大きくなっていく。若い男はハイヒールから視線を逸らし、同時に鋸の音は止む。寝床に横たわり、スマホでLINEを続ける男。半開きになった浴室の扉の暗闇にカメラは吸い込まれていく。

○同・浴室（夜）

スマホ画面が着信して発光する。LINEのポップアップ通知が出て、若い男から連続して着信していることがわかる。その文面は、

若い男…なんか急に筋肉痛っぽい

若い男…なにもしてないよ

若い男…なんでそんなに警察呼ばせたいの笑
カメラが引くと、スマホの傍らには
血に汚れた金槌と鋸が乱雑に置かれて
おり、バスタブには中身の詰まった黒
いゴミ袋が何個か積み重ねられていることが
わかる。

(了)